

【 第 2 回中標津町総合計画審議会報告 】

日時：令和 7 年 4 月 15 日（火）19：00～21：00

場所：中標津町役場 3 階 301 号会議室

出席者：審議会委員 15 名、事務局 5 名

<会議次第>

- 1 開 会
 - 2 会長挨拶
 - 3 議 題
 - (1) 第 7 期中標津町総合計画後期基本計画 骨子案について
 - (2) その他
 - 4 閉 会
-

<会議結果報告>

- 1 開会
- 2 会長挨拶
- 3 議題

※中標津町総合計画審議会条例第 6 条第 1 項の規程に基づき、小田会長が進行した。

- (1) 第 7 期中標津町総合計画後期基本計画 骨子案について

※政策推進課 伊與部係長より、資料に基づき説明。その後グループワーク実施

【グループワーク「5 年後の中標津の『こうなったら良いな』】

- ・第 7 期中標津町総合計画後期基本計画骨子案を踏まえ、後期基本計画の計画期間（令和 8 年度～令和 12 年度）の 5 年後の中標津町がどうあるべきかを 4 グループに分かれて意見交換。
⇒別紙資料のとおり 96 の意見が出された。
⇒上記意見については 5 月に開催を予定する次回総合計画審議会において役場の課長職を交えて意見交換。





(2) その他
※特になし

4 閉会

第7期中標津町総合計画【後期基本計画】 骨子案について

第2期中標津町総合計画審議会

令和7年4月15日（火）

中標津町 総務部 政策推進課 企画調整係

【後期基本計画】骨子案について

総合計画について

総合計画は、まちづくりの総合的な計画として最も上位に位置づけられるもの。

第7期中標津町総合計画 前期基本計画
(令和3年度～令和7年度)

令和7年度中
に策定

第7期中標津町総合計画 **後期**基本計画
(令和8年度～令和12年度)

骨子案とは

骨子案とは、**全体の骨組みとなる大まかな案**のこと。計画や提案などの物事において要点となる事柄を指す。



『**今後5年間のまちづくりの大まかな方向性**』

今日はこれを決めていく。

【後期基本計画】骨子案について

具体的には・・・

町が作った骨子案（今後5年間の方向性）を見ながら
5年後の中標津の『こうなったら良いな』

町の骨子案のここは良い、
もっとこうの方が良い 等

を話し合う。

【後期基本計画】骨子案について

今日の位置づけ

第1回
(12月)

- ・ 委嘱、諮問
- ・ 後期基本計画策定の流れの説明

第2回
(今回)

- ・ 後期基本計画骨子案の説明
- ・ グループワーク「5年後の中標津の『こうなったら良いな』」

第3回
(5月)

- ・ 後期基本計画骨子案の意見交換（役場課長同席）

第4回
(7月)

- ・ 後期基本計画素案の説明、意見交換

第5回
(9月)

- ・ 後期基本計画修正案の意見交換

大まかな方向性
(骨子)
の意見交換

計画書の内容
の意見交換

【後期基本計画】骨子案について

空とみどりが人をつないでいくまち

中標津

～住みたいまち 住み続けたいまち～

今日の位置づけ

パブリックコメント
(1ヶ月間)

第6回
(11月)

・後期基本計画の最終調整、答申

【後期基本計画】骨子案について

骨子案の内容

前期基本計画をベースに各分野（基本目標）毎に、**後期基本計画で取り組む方向性（前期基本計画からの主な変更点）**をまとめています。

- ・ 今後5年間で新たに取り組むもの。
- ・ 今後5年間で特に重視するもの。 等

【後期基本計画】骨子案について

空とみどりが人をつないでいくまち

中標津

～住みたいまち 住み続けたいまち～

骨子案別紙について

骨子案別紙は、骨子案の内容を**実際に計画書に落とし込んでいく際のイメージ**を前期計画との比較で示したものの。（新旧対照表形式）

参考資料として下さい。

【後期基本計画】骨子案について

空とみどりが人をつないでいくまち

中標津

～住みたいまち 住み続けたいまち～

グループワークの流れ

後期基本計画骨子案を見ながら、テーマ「**5年後の中標津の『こうなったら良いな』**」に沿って委員の意見を付箋に書いて模造紙に貼っていく。**模造紙にまとめた意見は後日役場内で協議し、5月に役場課長職を交えて意見交換。**

【後期基本計画】骨子案について

グループワークの流れ

- ※「1つの結論を出す」のではなく「**意見をどんどん出して模造紙にまとめていく**」イメージ。
- ※**必ずしも意見の全てが反映されるわけではなく、意見毎に役場で協議します。**

【後期基本計画】骨子案について

グループワークの流れ

- ・グループワークの時間は**60分**です。進め方は下記のとおりです。

(1) 最初にルールの確認を行ってください。【5分】

(2) 今取り組んでいる事（仕事・プライベート等）
を1人30秒程度グループ内で話してください。

【5分】

【後期基本計画】骨子案について

グループワークの流れ

町の骨子案のここは良い、
もっとこうした方が良い 等

- (3) 後期基本計画骨子案を見ながら「**5年後の中標津の『こうなったら良いな』**」を考え、付箋に書いてください。【10分】
- (4) 意見交換を行います。付箋に書いた意見を発言しグループ内で共有いただいた後、書記に付箋を渡してください。【40分】

【後期基本計画】骨子案について

グループワークの流れ

**（５）グループ毎に発表する方を決め、グループの
主な意見・特徴的な意見を発表してください。**

【15分】

【後期基本計画】骨子案について

グループワークの流れ

【進行役】

小田会長、本間副会長、小柳委員、久保委員

【書記】

渡部課長、佐藤主幹、伊與部係長、本間主査

※書記は付箋に必要なに応じて補足事項を書き加え、
模造紙に貼り付けます。

【後期基本計画】骨子案について

グループワークのルール

- ①参加・・・積極的、主体的に参加する。
- ②尊重・・・お互いを尊重し、傾聴する。（批判しない）
- ③守秘・・・個人的な情報は会議の外に持ち出さない。
- ④時間・・・時間を守る。（一人で話しすぎない）

【後期基本計画】骨子案について

空とみどりが人をつないでいくまち

中標津

～住みたいまち 住み続けたいまち～

グループワークのテーマ・ゴール

町が作った骨子案（今後5年間の方向性）を見ながら
5年後の中標津の『こうなったら良いな』

町の骨子案のここは良い、
もっとこうした方が良い 等

を話し合う。

総合計画審議会 グループワーク「5年後の中標津の『こうなったら良いな』」意見

No.	意 見	
	内 容	補 足
1	進学も重要ではあるが、学んで、戻ってきてくれる。(戻っても、生活できる、仕事がある)	戻ってこれる環境づくりが重要。
2	若い世代からの意見で多いのが遊ぶところがない。つままない。	人と人をつないで楽しい環境にできれば。(ゲームではなく)
3	②安心と生きがい 10代のリア充を増やす。 遊ぶところがない⇒ゲーム⇒コミュ障⇒自殺、結婚しない、できない	
4	若い世代が帰ってくるには子供の頃の経験が大事。特に幼児教育。大人との関わりの中で、カッコ良い大人と出会うのが大事で、大人との出会いの場をどれだけ作れるかが大事。	
5	人口減少に関係しているが、5年後の中標津・・・という事は今の10代の子供が、この中標津で生活したいと思える環境	その子達の意見を取り入れるのが大事。
6	若い子達が意見を言う場があるのか。「若者議会」として中高生に1,000万円を渡して自ら考え使っている町もある。まちづくりを自分事としてとらえるのが大事。	
7	若い人が住みやすい！と思える町になると保育・教員の資格を取りに行ってる学生が町に戻り就職すると思う。	
8	2025年現時点：魅力的な女性の職場が少ない 2030年：若者や女性が働く場所が豊かに	
9	10代の子がこの町で育って「楽しかった」と思えたら、戻ろうとする。環境が整ってなかったら、他の町で生活するのはあたり前ですよね。	
10	40代独身、出会いの場が増えているといいな。	プライベートで異性とコミュニケーションをとる場がない。
11	文化的なイベント(若者向け)	音楽イベント(SHIRUBE)など
12	若者の日常が楽しくなるような文化や施設があるといいな。	
13	若者向けの施設がないのに、若者は来ない。高校生が魅力を感じるまちにしたい。	Uターンにもつながる。

総合計画審議会 グループワーク「5年後の中標津の『こうなったら良いな』」意見

No.	意 見	
	内 容	補 足
14	中標津町で働くイメージや、地域の産業や職場などが伝わるような場所を作って、小中高生と交流し、子供たちが帰ってくるきっかけを作っていくこと	
15	各企業、福祉関係、医療職の人材確保が容易な町になる	働き世代の増加が必要ではないか
16	女性が働ける、働きやすいまち	委員のひとりが、たまたま自分のやりたい仕事が福祉系だったので社協に就職し、中標津町に住んでいるが、そもそも女性が働ける職場がないという話から、GWの中で出てきた内容を渡部が記載
17	野犬駆除で子供の通学を安全に（犬猫の保護の話もあるが、農家は本当に切実。自分も野犬の被害にあったこともあるので、子供たちに危害が及ぶ可能性もあり危険）	
18	熊が出ない。	安心して過ごしたい。熊が怖くて走りに行けない。
19	道の駅的機能について、災害時の避難所もかねて必要な施設だと思う。隣町や観光客のフォロー・後方支援すべき町としての準備が不足しているから。	現状、川の反対側に役場機能がない。災害対応の広域連携の中で、中標津町が後方支援の役割を担う事が重要。
20	みちの駅を作って知名度UP（骨子にみちの駅の記載ある。中標津にあれば人が集まる）	道の駅を目的に旅行する人もたくさんいる。まちの特産品など買える場所があれば地域のPRにもなるなど話が盛り上がっていた

総合計画審議会 グループワーク「5年後の中標津の『こうなったら良いな』」意見

No.	意 見	
	内 容	補 足
21	北方領土に対する理解の醸成、学習の機会続いているといいな。	
22	欲しい情報、伝えたい情報が、届く、探せるようなまち	GWの中で、みんなが町の情報について話していた内容を渡部がとりまとめ記載
23	災害に強いまち、災害への準備を（千島海溝地震が起きるといわれているので強化してほしい）	
24	町内会の加入率を5年後には50%にする	町内会の代わりになる組織を考えることも必要ではないか
25	町内会の加入率が90%になっているまち（人口減少のなかでの町内会の役割は重要になってくると思う）	

総合計画審議会 グループワーク「5年後の中標津の『こうなったら良いな』」意見

No.	意 見	
	内 容	補 足
26	団体が元気なまち (町内会の話でたが、町内会も含めて、町民の団体が元気に活躍できるまちになればいい)	
27	町営バスが便利になると良いかなと思います。(例えば、路線を増やしたり)	現状歩いている高齢者がいる。事前に予約する乗り合いタクシーのようなものがあれば。他にも70歳以上はタクシー半額等、足がない人の支援ができれば。
28	町内の移動がしやすい環境(公共交通)	子供、高齢者の移動手段の確保が必要ではないか
29	子供がやりたいこと(習い事)ができる町	他自治体へ流出を防ぐ事が必要ではないか
30	送迎付きの放課後児童クラブ(町内に3つしかない・・・)	共働きの子供が自分で通うには難しいと実感している (町内会が先進事例で行えば加入率増加に繋がる)
31	送迎付きの児童スポーツクラブ	共働きの子供が自分で通うには難しいと実感している (町内会が先進事例で行えば加入率増加に繋がる)
32	結婚して住みたいと思える町づくり	住環境、子育て環境を充実することで、近隣自治体へ流出を防げるのではないかと
33	安心した生活、子育て支援として「給食無償化」今後生き残る町としては最低限としてやるべき子育て支援かと。	安心して子育てするために必要。100食無償化された時は保護者はすごく感謝していたが、無償化がなくなって残念がっていた。
34	子供を産みたいと思える町づくり(子育てに必要なお金など)	近隣の子育てに手厚い自治体へ流出を防ぐ必要があるのではないかと
35	こどもの医療費は高校生まで免除 (このまちに住み続けるためには必要だと思う)	
36	母子家庭向けシェアハウスができるといいな (経済的な部分もふくめ、子供が暮らしやすいまちになってほしい)	母子家庭に限らず、母親、子供が安心できるような体制を強化してほしいとのこと。
37	子育て支援の拡充。親ひとりひとりが恩恵を感じるような。	
38	子育てしやすい環境。(保育所)	西町の方の児童館がなくなった。施設の整備や子どもの医療費・給食費無償化など。

総合計画審議会 グループワーク「5年後の中標津の『こうなったら良いな』」意見

No.	意 見	
	内 容	補 足
39	住民同士の交流。世代を超えた交流、助け合い。	介護や除雪など近所づきあい。サロンのなゆるい感じで交流できる機会。
40	福祉人材が増えたらいいな。	人は増えているけど、施設も増えている。
41	福祉の充実があると待つ事なく施設に入れると思います。	現状は待機が生じてしまっている。
42	情報・場所があっても、高齢者につながらない・届かないのであれば、マッチングする仕組み、プラットフォーム等があれば。	
43	福祉はこの5年で一気に進んだ！頑張ったなー	
44	生活保護等を不正にもらっている人がいる。本当に困っている人にしっかり届くようにしてほしい。	
45	介護サービスの需要と供給のバランスが保てるように (介護人材の人手不足。自分の仕事柄解決してほしい)	
46	高齢者の介護予防の充実。元気を長く保てるように	
47	自殺する前に悩みを相談できる場を作り、自殺者が減少できるように	
48	自殺対策。外部評価委員会でも話に出た。減って自殺者が0になればいいな。	
49	健康づくりについて、町立病院に色々な先生がいて欲しい。	現状出張医の先生ばかり。高齢者も行きやすい病院になって欲しい。また病院に限らず悩みを相談できる場所・会話できる場所があれば。

総合計画審議会 グループワーク「5年後の中標津の『こうなったら良いな』」意見

No.	意 見	
	内 容	補 足
50	酪農と畑作の最適な組み合わせ(最先端地区)	産官学で考える 酪農を活かした新たな畑作への参入を バランスよく進められないか
51	酪農業が安定する。基幹産業だからこそ。	生乳生産量全国第3位は知られていない？
52	2025年現時点:チェーン店の進出・空洞化??(地域企業の売上低下) 2030年:地元の企業を応援する仕組み。	チェーン店がバイパス沿いに進出し中心市街地が空洞化してきているのであれば、地元企業の売上が減らないように応援する仕組みが必要。
53	2025年現時点:産業構造的に建設事業者や酪農事業者が多く、産業の多様性が乏しい。 2030年:地域の酪農業などの基幹産業を活かしつつ、産業・業種の多様性を確保していく。	企業誘致や地元企業の応援等により産業の多様性を広げていく事が重要。個人の新規事業を応援する事も大事。支援があるとチャレンジしやすい。
54	北海道で唯一の店、企業があるまちに(企業誘致することで人が集まるのではないか)	
55	若い人が起業できるまちになってほしい	
56	昔ながらの喫茶店が残っているといいな。若い人に魅力がある店があるといいな。	
57	まちなかが盛り上がっていてほしい。	商業、飲食店。
58	地域外からの投資が集まるまちだけど、地元の資本がしっかり絡んでいる	町内(管内)の消費の循環が外に出ない仕組みづくり
59	景観と観光がつながるまち	交流人口を増やし、中標津の魅力を感じてもらう
60	日本で一番有名な町に！ (移住者から、いいまちなのに魅力が発信されていないといわれたことがある)	中標津町が知られていないよねという萱岡さんの発言にみんな共感していた。
61	既存のイベントを近隣地域の人に来てほしいと思うようなイベントに (もっと外から人を呼ぶようなイベントにして、まちを活性化していければ)	
62	観光素材が増えたらいいな。若い人に魅力的な施設や道の駅など。	今は観光スポットが開陽台しかない。開陽台以外で紹介できる場所がない。

総合計画審議会 グループワーク「5年後の中標津の『こうなったら良いな』」意見

No.	意 見	
	内 容	補 足
63	車中泊の人にもやさしいまちに (車中泊しているひとが増えてきたけど、車中泊がしやすいまちになっていない)	道の駅の話から車中泊の話題になり出てきた意見
64	外国人観光客にも来てもらえるようなコンテンツの創出 (これからはインバウンドが増えてくるので外国人をターゲットにしたコンテンツが必要)	
65	おもてなしのまちであればいいな。	
66	ふるさと納税強化。	中標津町の目印になるようなお土産ができればふるさと納税の強化にもつながるのでは。
67	中標津町の目印になるような手土産が欲しい。(乳製品以外)	
68	2025年現時点:人口減少は進む。選ばれる地域になるために、地域の魅力を商品化できていない。 2030年:地域の魅力を商品化・パッケージ化して、戦略的に売り込む仕組みを作る。	
69	魅力ある特産品をつくる (これからは6次化も農家にとって考えていかなければならないし、そうして特産品ができることで町が有名になっていく)	
70	0円物件があれば移住してくれるのでは。0円物件のサイトを行政が管理できれば。	人気のない物件等、0円で借りられる物件を集めた0円物件のサイトがある。
71	北見(女満別)・中標津・釧路で道東のリーダーシップを	近隣(管内)の市町と連携(リーダーシップ)をとり、更に空港を拠点とした本州都市部とのつながり
72	生産現場と空輸機能の連携で都市部への運搬が容易になっている	例えば、新鮮な食材がその日に都心で調理され食べることができる等 新たなアイディアで、中標津空港の活用促進が必要でポテンシャルはすごく高いと感じる
73	千歳空港に並ぶハブ空港に中標津空港がなる	道東エリアの中心地として、東京便他、各空港へ増便して都市部と便利なまち
74	空港を活用していろいろ活動して (中標津空港は近隣唯一の空港なので、もっと活用してまちを盛り上げてほしい)	

総合計画審議会 グループワーク「5年後の中標津の『こうなったら良いな』」意見

No.	意 見	
	内 容	補 足
75	外国人との交流(子ども含む)ができる町	外国人も子育てができると住み続けるのではない
76	留学生をもっと町民に紹介して理解してもらう事が大事。今は何か留学生に対してよそよそしい感じがする。	子供のうちに外国人と触れ合う事が大事。
77	外国人との交流が盛んになっているまち(外国人が増えてきてイベントなどでも参加してもらい交流できる機会が増えてほしい)	
78	外国人との交流イベントが増えるといいな。	岩谷学生や農家の実習生と町民の交流など。
79	2025年現時点:教育レベルが低い。教育事業への投資が少ない。せっかくIT専門学校が開校されたが、地域として応援しないと撤退してしまう。 2030年:IT専門学校を町としていかに連携し、教育事業をまちづくりの根幹に位置づけて教育レベルを上げる。	
80	IT専門学校を卒業して就職するためのバックアップが必要。ITと関わらない会社でも良い。	
81	IT専門学校は大チャンス。学生をどれだけ楽しめられるか。定着してもらう事が大事。国際的な人材が集まってきている。そこを活かす事が重要。	
82	地域に貢献する事で専門学校の利益につながる仕組みを作らないと専門学校は撤退してしまうのではない。	
83	キャンプ場の整備。	
84	コンパクトで住みやすいまちに	弟子屈町の人が、釧路ではなく中標津にくるのは、買い物の移動距離が短くなんでもそろうからと、弟子屈の知人が言っていたの話から、商業施設がまとまっていることが、住みやすさとの意見
85	賃貸住宅を見つけやすい環境(現状は、家賃が高い、少ない)	家賃が安いまち

総合計画審議会 グループワーク「5年後の中標津の『こうなったら良いな』」意見

No.	意 見	
	内 容	補 足
86	空き家について、家が高くて買えなくなっている。住むところがない時に空き家を活用するのが大事では。空き家を資源として捉える。	
87	景観がきれいになるとよい。道路とかもガタガタ。	景観への手入れが行き届けば、ヒグマ対策にもつながる。
88	中標津らしい景観を守るの定義とルールがしっかり整備されている町	建築物の街並み(色や形、高さ)の統一化、太陽光パネル問題による景観の保全
89	ソーラーパネルだらけにしてほしくない。	道路沿いに建てられると、せっかくの風景が台無しになる。
90	GIGAスクールのネット回線が強くなっていたらいいな。	
91	郷土館の建て替えが前に進んでほしい。6期からの願い。	郷土館がいつ開いているかわからない。入りたい子どもたちもいる。魅力的な施設になってほしいな。
92	本物の文化(音楽・絵画)に触れる機会が増えてほしいな。	
93	文化人が増えてほしいな。	
94	シニア世代が気軽に参加できるイベント、サークルがあるといいな。自分がシニアになった時、同世代で集まれるような受け皿が欲しい。	文化人が減ってきている。特に若い人。スポーツは手軽にできるが、文化サークルは少ない。
95	こどもたちのスポーツ活動へ助成して(スポーツをしている子供たちを支援していくことでもしかしたら大谷のような子供も修礼でてくるかも。別海町でプロ野球チームもできたのもっと盛り上げてほしい)	
96	スポーツイベントを中標津で開催してほしい。町の顔になるようなイベント。	ウォーキング大会を開催し、特産品(牛乳など)を配るとか。町外の人にも来るのでは？別海などはアキアジ？